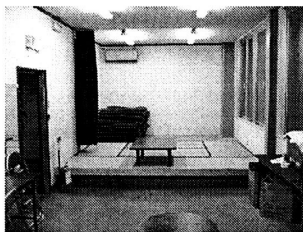


in→dependent theatre 2nd

インディペンデントシアター
in→dependent theatre 2nd
 since:2004
 Produced by West Power Co.,Ltd.

■楽屋■
 楽屋は、劇場2Fの搬入シャッター側になります。道路に面した部分はほぼ全面が大きな窓になっており、外光が入り換気もバッチリです。精神衛生上最高の楽屋環境を提供いたします。北側半分が畳のスペースでくつろげ、南側半分が通常の鏡前です。広さは十分とは言えませんが、衣装やメイクなど役者中心の使用になるかと思えます。食事やスタッフの休憩場所としては、楽屋前の空間にテーブルを出して仮設する形にするか、ミーティングルーム(オプション料金)を第二の楽屋として使用します。



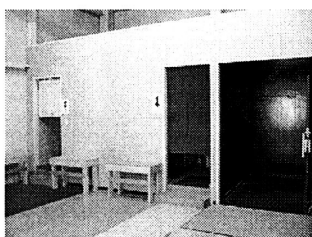
■搬入シャッター■
 当劇場のシャッターは、南下(図面右方向)への一方通行4車線道路に面しており、搬入搬出の利便性は日本中の小劇場でもトップクラスと自負しています。シャッターは舞台間口とほぼ同じ広さの全面開口ですからトラックをバックヤードに突っ込んだ状態で搬入搬出も可能です。音の問題など、諸問題をクリアすることが出来れば、演出の為に閉鎖することも検討します。

■関係者入口■
 スタッフや役者など利用者は、この裏通りに面した入口から劇場に入ります。すぐ正面に2F楽屋への階段もあります。また、外のすぐ隣にはもう一つ扉があり、これは建物と建物との通路への入口であり、これを使用するとロビーへ抜けることができます。ロビー側からの登壇や、面会時にロビーへ抜ける通路として使用できます。

■階段室■
 2Fへあがるための階段です。階段の斜めラインにそって壁を起こした階段室となっています。ですので、階段下部分は上がり口から一定距離離れたと(図面で示した部分)袖や通路として使用できる高さがあります。本来は火災時の防火区画として設けられていますが、完全な部屋になっているので、1F・2Fの各扉を開ければ、2Fからの音や明かり漏れをシャットアウトすることができます。ただし、足音が響きやすいので(現在対策中)上演中の上り下りには注意が必要です。

■搬入EV & 予備WC■
 2Fへ通じる搬入用のEVです。制作備品や衣装小道具など、楽屋へ運ぶ物の移動や2Fの備品庫から1Fに機材等を下ろす場合に使用します。また、予備の座席などをスタンバイして1Fに留め置くことで、急な客席の増席などにも対応できます。予備WCは、ここが倉庫だった時のトイレで、現在でも使用できますが、内部換気の為(劇場内にニオイが...)、通常は使用を禁止しています。なお、この予備WCと壁との間を箱馬の保管場所としています。使用して空いた隙間は、劇団さんの道具などを収納しても構いません。

■劇場入り口区画■
 劇場客席部への入口はこの一箇所なので、客止めやもぎりも少ない人数で対応可能です。逆に一辺に駆け込まないよう、お客様のコントロールが必要です。

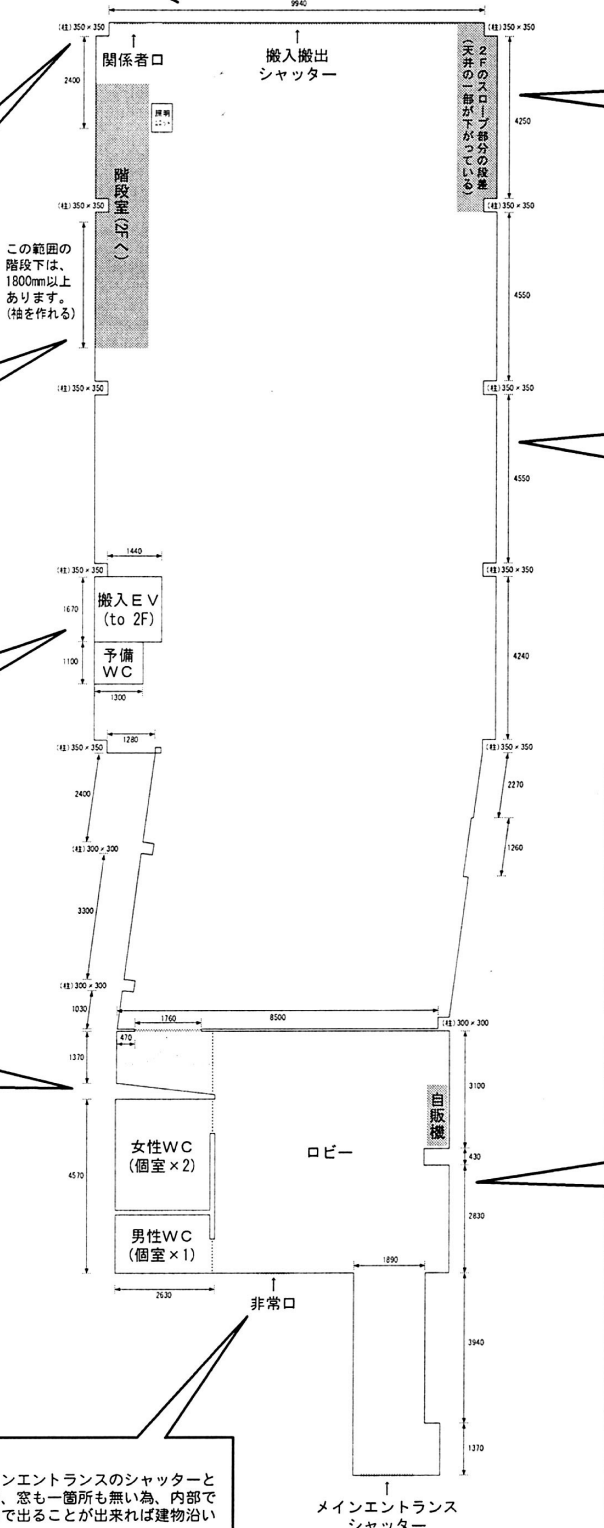


■お客様用WC■
 男性と女性に分かれたトイレをご用意しました。劇場区画からは離れており、壁もあるので水音などは上演中の使用でも大丈夫です。劇場全体は、客席後部を覗いて段差の無いバリアフリーを実現しているのですが、トイレだけは残念ながら排水の関係で1段上がっています。ただし、介助者がいれば、車椅子や足の不自由な方でもご利用いただける程度の段差に抑えました。ちょっとしたコダワリです。

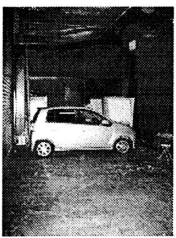
■非常口■
 劇場の外壁沿いの通路にでる出口です。緊急時には、メインエントランスのシャッターと併用して非常口となります。劇場外壁はALC鉄筋製で、窓も一箇所も無い為、内部で火災が発生しても火が外に出る可能性は低く、この通路まで出ることが出来れば建物内に安全に非難できます。通常時には、劇場の裏手へ回る近道として使用します。役者や舞臺の行き来、面会時にロビーと楽屋をつなぐ通路として使用できます。また、非常口外にやや広い空間があるので、受付開始前など制作さんの憩いの場として機能するかも知れません。

in→dependent theatre 2nd 1/200

□天井高約5000mm/縦バトン下4030mm/横バトン下3950mm



■バックヤード■
 搬入シャッターから1本目の柱までのこの空間は、基本バックヤードとして使用し、パンチはひかれていません。通常は劇場の公用車(軽自動車1台)と平台(台車)にのせていますので移動はスムーズですが収納されています。あまった機材や材料を収納したり、衣装替え用の仮設楽屋を作ったり、搬入車を留め置いたり、使用方法は利用者の自由です。もちろんココまで舞台を建て込んでも結構です。



標準舞台側から客席を

■劇場区画/客席&舞台■
 劇場区画内部の使用方法は完全に自由です。どのようなレイアウトで客席と舞台を組んでも結構です。ただし戸惑わない為、最大キャパを生かせる使用方法として、基本の客席を組んだ状態にしてあります。

標準客席側から舞台側を

■ロビー■
 けっして広いとは言えませんが、必要充分な広さを確保しています。受付や物販、仕込み時には挟み込みの作業などに使用します。ライトグレーの塗装とクロス仕上げで、天井も高く開放感の在るロビーです。今後、劇場ロゴの垂れ幕やポスター掲示版など、装飾を施していく予定です。ロビーは飲食喫煙が出来ますので、お客様におくつろぎいただけるようになっています。エントランスシャッターの先にもう少し太い通路が5mほどあり、その先は珪筋のアーケードです。通路の途中に劇場手前の建物2Fへの階段があり、「メジャー」という昔気質の喫茶店が営業しています。お互いに営業の妨害にならないように、並ばれるお客様の整理などに気を使ってください。

